

数学科

I 数学科の学習目標

- (1) 数量や図形などに関する基礎的な概念や原理、法則の理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得する。
- (2) 事象を数学的に考察する能力を高めながら、数学的な見方・考え方を育む。
- (3) 数学的な活動の楽しさ、数学的な見方や考え方のよさを知り、それらを進んで活用する態度を育てる。
- (4) 6年間の学習を系統的にまとめ、それらを実践的に活用できるよう、多面的な見方・考え方や論理的に考える力を養い、問題解決能力を高めていく。

II 数学科の6年間の科目構成と学習内容

		「科目」と学習内容	発展的な内容、特色ある活動、関連する行事等
中学段階	1年	[代数] 正の数と負の数（四則根号算、仮平均） 式の計算（文字式、多項式の計算） 方程式・不等式（1次方程式、連立方程式、1次不等式） 1次関数（比例、反比例、1次関数） データの活用（ヒストグラム、代表値、箱ひげ図） [幾何] 平面図形・空間図形 （作図、いろいろな立体、立体の切断）	・習熟度別少人数制授業（1クラス2展開中心） ・発展的な内容 [代数] 単項式の乗除、文字式の利用、連立方程式、連立方程式の利用、1次関数（中2） 1次不等式、連立不等式、その利用（数I） [幾何] 図形の性質と合同（平行線と角）（中2） ・関連する行事 数学検定（希望者）
	2年	[代数] 式の計算（展開・因数分解） 平方根（根号を含む式の計算、有理数と無理数） 2次方程式（2次方程式の解き方、その応用） 確率と標本調査（場合の数、確率の計算、標本調査） [幾何] 図形の性質と合同（平行線と角、多角形の内角外角） 三角形の合同、三角形と四角形（二等辺三角形、平行四辺形） 図形と相似（三角形の相似、相似な図形の面積比・体積比） 線分の比と計量（線分の比と面積比）、円（円周角の定理）	・習熟度別少人数制授業（1クラス2展開中心） ・発展的な内容 [代数] 展開・因数分解、2次方程式（中3・数I） 平方根、有理数と無理数（中3） 順列と組合せ、確率（数A） [幾何] 図形の相似と面積比・体積比（中3・数A） メネラウス・チェバの定理（数A） ・関連する行事 数学検定（希望者）
	3年	[代数] 数と式（多項式の展開・因数分解の復習） 関数（ $y=ax^2$ のグラフと応用、最大・最小） 方程式・不等式（2次方程式・不等式の解き方） [数学I] 数と式（多項式の展開、因数分解、実数） 2次関数（2次関数の最大・最小、2次方程式・不等式） 図形と計量（三角比） [幾何] 円（方べきの定理、2つの円） 三平方の定理（平面図形、空間図形） *中学3年間のまとめ（高校入試問題演習）	・習熟度別少人数制授業（1クラス2展開中心） ・発展的な内容 [代数] 平方根の計算（中3） 多項式の計算（数I・数II） [数学I] 2次関数、2次不等式（数I） 三角比（数I） [幾何] 円周角の定理、内接四角形、接線（数A） ・関連する行事 数学検定（希望者）
高校段階	4年	[数学I] 数と式（集合と命題） 図形と計量（三角比の拡張、正弦定理・余弦定理） データの分析（分散・標準偏差、相関係数、仮説検定） [数学A] 場合の数・確率（順列・組合せ、反復試行、条件付き確率・期待値） 図形の性質（三角形の五心、円の性質、作図、空間図形） 数学と人間の活動 （倍数・約数、不定方程式、 n 進法、整数問題） [数学II] 式と証明（二項定理、相加・相乗の関係） 複素数と方程式（解と係数の関係、剰余の定理・因数定理） 図形と方程式（点と直線、円の方程式、軌跡と領域） 三角関数	・習熟度別少人数制授業を実施（予定） ・発展的な内容 [数学I] 平均・分散の変数変換（数B） 仮説検定（数B） いろいろな式（数II） [数学A] 整数、方程式（数II） [数学II] 複素数と方程式（数II） 図形と方程式（数II） *各クラスで大学入試問題演習を適宜実施。
	5年	[数学II] いろいろな関数（指数関数と対数関数） 微分法と積分法（微分係数、導関数、不定積分、面積） [数学B] 数列（数列とその和、漸化式、数学的帰納法） 統計的な推測（仮説検定、確率分布、期待値と分数、正規分布） [数学C] ベクトル（平面ベクトル、空間ベクトル） 複素数平面（極形式、ド・モアブルの定理） [数学III]（理系） いろいろな関数（分数関数、無理関数、逆関数、合成関数） 極限（数列の極限、関数の極限）	・習熟度別少人数制授業を実施（予定） ・発展的な内容 [数学II] 理系のみ 積・商の微分・合成関数の微分・分数関数・無理関数 ・逆関数・数列の極限・関数の極限（数学III） [数学B] ベクトル・複素数平面（数学C） 数学IAIIB問題演習 *各クラスの進路に応じた大学入試問題演習を実施。
	6年	[数学C] 式と曲線（2次曲線、媒介変数表示と極座標） [数学III]（理系） 微分法（三角関数・指数関数・対数関数の微分） 微分法の応用（導関数の応用、速度・加速度） 積分法（不定積分の基本性質、置換積分法、部分積分法） 積分法の応用（面積、体積、曲線の長さ） [数学II]（文理系） 国公立2次・私大を志向した数学IAIIB演習 [自由選択科目]（文系） 国公立2次・私大を志向した数学IAIIB演習	・生徒の能力や適正、進路希望に応じた選択履修を実施。 [必修科目] 数学III（理系：国公立・私大2次対策） 数学II（文理系：国公立・私大2次対策） [自由選択科目] 数学演習 α （文系） 数学演習 β （文系） 数学演習 γ （文系） 数学C（文系）

* 6年生の自由選択科目は受講希望者数によって変更があり得ます。

教科名 数学科
 科目名 数学
 対象 1学年全員

I 学習到達目標

- 1 数学の中学校段階における基礎・基本となる事項の知識と技能を習得する。
- 2 数学的な見方や考え方のよさを知るとともに、それらを活用する態度を養う。
- 3 数学的活動を通して、数学を学ぶ楽しさを実感し、数学に関する興味・関心を高める。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 総授業数 年間授業時数 195時間
- 2 授業形態 習熟度別少人数制 2クラス3展開+1クラス2展開 週5時間のうち3時間実施

III 教科書・補助教材

教科書 「中学数学1」教育出版
 補助教材 「体系数学1代数編」「体系数学1幾何編」「体系数学2代数編」数研出版
 「新中学問題集 発展編 数学1・2」教育開発出版

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	学習内容		
一 学 期	4	1 学期 中 間 考 査	『体系数学1 代数編』P6~39 第1章「正の数と負の数」 1 正の数と負の数 2 加法と減法 3 乗法と除法 4 四則の混じった計算	『体系問題集 数学1 代数編』 完成ノート 正の数と負の数 /式の計算	7 5
	5		『体系数学1 幾何編』P6~17 第1章「平面図形」 1 平面図形の基礎 2 図形の移動	『体系問題集 数学1 幾何編』 完成ノート 平面図形/空間図形	
	6	1 学期 期 末 考 査	『体系数学1 代数編』P40~85 第2章「式の計算」 1 文字式 2 多項式の計算 3 単項式の乗法と除法 4 式の値 5 文字式の利用 第3章「方程式」 1 方程式とその解 2 1次方程式の解き方 3 1次方程式の利用	『体系問題集 数学1 代数編』 完成ノート 正の数と負の数 /式の計算・方程式	
7	『体系数学1 幾何編』P18~35 第1章「平面図形」 3 作図 4 面積と長さ		『体系問題集 数学1 幾何編』 完成ノート 平面図形/空間図形		
二 学 期	夏休み 宿 題	宿 題 テ ス ト	夏期休業課題（1学期の復習）、体系問題集等、 教科書の予習		
	9	2 学期 中 間 考 査	『体系数学1 代数編』P86~125 第3章「方程式」 4 連立方程式 5 連立方程式の利用 第4章「不等式」 1 不等式の性質 2 不等式の解き方 3 不等式の利用 4 連立不等式	『体系問題集 数学1 代数編』 完成ノート 方程式・不等式	7 5
	10		『体系数学1 幾何編』P40~47 第2章「空間図形」 1 いろいろな立体 2 空間における平面と直線	『体系問題集 数学1 幾何編』 完成ノート 平面図形/空間図形	
11	2 学期 期 末 考 査	『体系数学1 代数編』P126~175 第5章「1次関数」 1 変化と関数 2 比例とそのグラフ 3 反比例とそのグラフ 4 比例・反比例の利用 5 1次関数とそのグラフ 6 1次関数と方程式	『体系問題集 数学1 代数編』 完成ノート 1次関数		
12		『体系数学1 幾何編』P48~55 第2章「空間図形」 3 立体のいろいろな見方	『体系問題集 数学1 幾何編』 完成ノート 平面図形/空間図形		
三 学 期	冬休み 宿 題	宿 題 テ ス ト	冬期休業課題（1・2学期の復習）、体系問題集等、 教科書の予習		
	1	学 年 末 考 査	『体系数学II 台数編』P112~133・146~147 第5章「データの活用」 1 データの整理 2 データの代表値 3 データの散らばりと四分位範囲	『体系問題集 数学2 代数編』 完成ノート データの活用 /確率と標本調査	4 5
	2		第6章「確率と標本調査」 2 事柄の起こりやすさと確率	『体系問題集 数学1 幾何編』 完成ノート 平面図形/空間図形	
3	『体系数学1 幾何編』P56~68 第2章「空間図形」 4 立体の表面積と体積				
				計 195	
評 価	学期毎の評価、学年末の評定については、以下の資料を用いて、「知識及び技能」, 「思考力、判断力、表現力」, 「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価を行う。 ①定期考査（各学期、年間5回）、②宿題テスト（夏休み、冬休み、年間2回）、③確認テスト（単元に対応） ④提出物（課題ノート、課題プリント等）、⑤学習の様子（授業参加態度、提出物状況、関心・意欲等）				

教科名 数学科
 科目名 数学
 対象 2学年全員

I 学習到達目標

- 1 数学の中学校段階における基礎・基本となる事項の知識と技能を習得する。
- 2 数学的な見方や考え方のよさを知るとともに、それらを活用する態度を養う。
- 3 数学的活動を通して、数学を学ぶ楽しさを実感し、数学に関する興味・関心を高める。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 総授業数 年間授業時数 156時間
- 2 授業形態 習熟度別少人数制 1クラス2展開 週4時間のうち2時間実施

III 教科書・補助教材

教科書 「中学数学2」教育出版
 補助教材 「体系数学1 幾何編」「体系数学2 代数編」「体系数学2 幾何編」数研出版
 「新中学問題集 発展 数学2」教育開発出版
 「体系問題集数学1 幾何編〔発展〕」「体系問題集数学2 代数編〔発展〕」「体系問題集数学2 幾何編〔発展〕」
 数研出版

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考	
		考 査	学習内容			副教材・その他の学習内容
一 学 期	春休み 宿 題	宿 題 テスト	春季休業課題（1年次の復習）	60		
	4	1 学期 中 考 査	『体系数学2 代数編』 第1章「式の計算」P4～31 1 多項式の計算 2 因数分解 3 式の計算の利用 『体系数学1 幾何編』 第3章「図形の性質と合同」P70～81 1 平行線と角 2 多角形の内角と外角			『体系問題集 数学2 代数編』 完成ノート 式の計算 『体系問題集 数学1 幾何編』 完成ノート 図形と合同 その他、配布されたプリント
	5		『体系数学2 代数編』 第2章「平方根」P32～61 1 平方根 2 根号を含む式の計算 3 有理数と無理数 4 近似値と有効数字 『体系数学1 幾何編』 第4章「図形の性質と合同」P82～97 3 三角形の合同 4 証明			『体系問題集 数学2 代数編』 完成ノート 平方根 『体系問題集 数学1 幾何編』 完成ノート 図形と合同 その他、配布されたプリント
6	7	1 学期 期 末 考 査	『体系数学2 代数編』 第2章「平方根」P32～61 1 平方根 2 根号を含む式の計算 3 有理数と無理数 4 近似値と有効数字 『体系数学1 幾何編』 第4章「図形の性質と合同」P82～97 3 三角形の合同 4 証明	『体系問題集 数学2 代数編』 完成ノート 平方根 『体系問題集 数学1 幾何編』 完成ノート 図形と合同 その他、配布されたプリント		
二 学 期	夏休み 宿 題	宿 題 テスト	夏季休業課題（入学時～2年1学期の復習）	60		
	9	2 学期 中 考 査	『体系数学2 代数編』 第3章「2次方程式」P62～85 1 2次方程式の解き方 2 2次方程式の利用 『体系数学1 幾何編』 第4章「三角形と四角形」P98～111 1 二等辺三角形 2 直角三角形の合同 3 平行四辺形			『体系問題集 数学2 代数編』 完成ノート 2次方程式 『体系問題集 数学1 幾何編』 完成ノート 三角形と四角形 その他、配布されたプリント
	10		『体系数学1 幾何編』 第4章「三角形と四角形」P112～134 4 平行線と面積 5 三角形の辺と角 『体系数学2 幾何編』 第1章「図形と相似」P4～16 1 相似な図形 2 三角形の相似条件			『体系問題集 数学1 幾何編』 完成ノート 三角形と四角形 『体系問題集 数学2 幾何編』 完成ノート 図形と相似 その他、配布されたプリント
11	12	2 学期 期 末 考 査	『体系数学1 幾何編』 第4章「三角形と四角形」P112～134 4 平行線と面積 5 三角形の辺と角 『体系数学2 幾何編』 第1章「図形と相似」P4～16 1 相似な図形 2 三角形の相似条件	『体系問題集 数学1 幾何編』 完成ノート 三角形と四角形 『体系問題集 数学2 幾何編』 完成ノート 図形と相似 その他、配布されたプリント		
三 学 期	冬休み 宿 題	宿 題 テスト	冬季休業課題（入学時～2年2学期の復習）	36		
	1	学 年 末 考 査	『体系数学2 代数編』 第4章「関数 $y=ax^2$ 」P86～111 1 関数 $y=ax^2$ 2 関数 $y=ax^2$ のグラフ 3 関数 $y=ax^2$ の値の変化 4 関数 $y=ax^2$ の利用 5 いろいろな関数 『体系数学2 幾何編』 第1章 「図形と相似」P17～43 3 平行線と線分の比 4 中点連結定理 5 相似な三角形の面積比、体積比 6 相似の利用			『体系問題集 数学2 代数編』 完成ノート 関数 $y=ax^2$ 『体系問題集 数学2 幾何編』 完成ノート 線分の比と計量 その他、配布されたプリント
	2		『体系数学2 代数編』 第4章「関数 $y=ax^2$ 」P86～111 1 関数 $y=ax^2$ 2 関数 $y=ax^2$ のグラフ 3 関数 $y=ax^2$ の値の変化 4 関数 $y=ax^2$ の利用 5 いろいろな関数 『体系数学2 幾何編』 第1章 「図形と相似」P17～43 3 平行線と線分の比 4 中点連結定理 5 相似な三角形の面積比、体積比 6 相似の利用			『体系問題集 数学2 代数編』 完成ノート 関数 $y=ax^2$ 『体系問題集 数学2 幾何編』 完成ノート 線分の比と計量 その他、配布されたプリント
3	『体系数学2 代数編』 第4章「関数 $y=ax^2$ 」P86～111 1 関数 $y=ax^2$ 2 関数 $y=ax^2$ のグラフ 3 関数 $y=ax^2$ の値の変化 4 関数 $y=ax^2$ の利用 5 いろいろな関数 『体系数学2 幾何編』 第1章 「図形と相似」P17～43 3 平行線と線分の比 4 中点連結定理 5 相似な三角形の面積比、体積比 6 相似の利用		『体系問題集 数学2 代数編』 完成ノート 関数 $y=ax^2$ 『体系問題集 数学2 幾何編』 完成ノート 線分の比と計量 その他、配布されたプリント			
				計 156		

評 価
 学期毎の評価、学年末の評定については、以下の資料を用いて、「知識及び技能」, 「思考力、判断力、表現力」, 「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価を行う。
 ①定期考査（各学期、年間5回）、②宿題テスト（春休み、夏休み、冬休み、年間3回）、③確認テスト（単元に対応）
 ④提出物（課題ノート、課題プリント等）、⑤学習の様子（授業参加態度、提出物状況、関心・意欲等）

教科名 数学科
 科目名 **数学**
 対象 3学年全員

I 学習到達目標

- 1 数学の中学校段階における基礎・基本となる事項の知識と技能を習得する。
- 2 数学的な見方や考え方のよさを知るとともに、それらを活用する態度を養う。
- 3 数学的活動を通して、数学を学ぶ楽しさを実感し、数学に関する興味・関心を高める。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 総授業数 年間授業時数 195時間
- 2 授業形態 少人数・習熟度別授業 1学級2展開 週5時間のうち2時間実施

III 教科書・補助教材

教科書 『中学数学3』教育出版
 補助教材 『体系数学2 代数編』『体系数学2 幾何編』『体系数学3 数式・関数編』数研出版
 『体系問題集 数学2 代数編〔発展〕完成ノート』『体系問題集 数学2 幾何編〔発展〕完成ノート』数研出版
 『体系問題集 数学3 数式・関数編』数研出版
 『3年間の総整理問題集』正進社

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考	
		考 査	学習内容			副教材・その他の学習内容
一 学 期	春休み 宿 題	宿 題 テスト	春期休業課題（1～2年次の復習）	75		
	4	1 学期 中 間 考 査	『体系数学2 代数編』 P86～111 第4章「関数 $y=ax^2$ 」 1 関数 $y=ax^2$ 2 関数 $y=ax^2$ のグラフ 3 関数 $y=ax^2$ の値の変化 4 関数 $y=ax^2$ の利用 5 いろいろな関数			『体系問題集 数学2 代数編』 完成ノート
	5		『体系数学2 幾何編』 第3章「円」 P66～105 1 外心と垂心 2 円周角 3 円に内接する四角形 4 円の接線 5 接線と弦のつくる角 6 方べきの定理 7 2つの円			『体系問題集 数学2 幾何編』 完成ノート ・探究的な学習 ・高校入試問題演習 ・3年間の総整理問題集
6	1 学期 期 末 考 査	第4章「三平方の定理」 P110～134 1 三平方の定理 2 三平方の定理と平面図形 3 三平方の定理と空間図形 第6章「確率と標本調査」 P134～165 1 場合の数 2 確率の計算 3 標本調査	『体系問題集 数学2 幾何編』 完成ノート 『体系問題集 数学2 代数編』 完成ノート ・探究的な学習 ・高校入試問題演習 ・3年間の総整理問題集			
7						
二 学 期	夏休み 宿 題	宿 題 テスト	夏期休業課題（入学時～3年1学期の復習）	75		
	9	2 学期 中 間 考 査	『体系数学3 数式・関数編』 P6～44 第1章 数と式 1 多項式 2 因数分解 3 多項式の割り算 4 分数式 5 実数			『体系問題集 数学3 数式・関数編』 P4～23 ・探究的な学習 ・高校入試問題演習 ・3年間の総整理問題集
	10		『体系数学3 数式・関数編』 P81～113 第3章「2次関数とグラフ」 1 2次関数のグラフ 2 関数のグラフの移動 3 2次関数の最大、最小 4 2次関数の決定 5 2次関数のグラフと方程式			『体系問題集 数学3 数式・関数編』 P46～60 ・探究的な学習 ・高校入試問題演習 ・3年間の総整理問題集
11	2 学期 期 末 考 査					
12						
三 学 期	冬休み 宿 題	宿 題 テスト	冬期休業課題（入学時～3年2学期の復習）	45		
	1	学 年 末 考 査	『体系数学3 数式・関数編』 第3章「2次関数とグラフ」 P114～132 6 2次不等式 7 2次不等式の応用 第5章「三角比」 P179～216 1 三角比 2 三角比の相互関係 3 三角比の拡張 4 正弦定理・余弦定理 5 三角形の面積			『体系問題集 数学3 数式・関数編』 P61～71, P98～115 ・探究的な学習 ・高校入試問題演習 ・3年間の総整理問題集
	2					
3						
				計 195		

評 価
 学期毎の評価、学年末の評定については、以下の資料を用いて、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力」、
 「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価を行う。
 ①定期考査（各学期、年間5回）、②宿題テスト（春休み、夏休み、冬休み、年間3回）、③確認テスト（単元に対応）
 ④提出物（課題ノート、作品作成、リフレクションシート等）、⑤学習の様子（授業参加態度、提出物状況、関心・意欲等）

教科名 数学科

科目名 **数学 I**

対 象 4 学年全員

I 学習到達目標

- 1 いろいろな式及び微分積分の考えについて理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を目標とする。
- 2 様々な事象を数学的に考察し、処理する能力を伸ばすと共に、それらを活用する能力を身に付ける。
- 3 統計の基本的な考えを理解するとともに、それをを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 予習、復習を前提とした授業を実施する。
- 2 授業は教科書を中心に扱う。問題演習などでは、問題を考察し、生徒自身が解法を発表することでプレゼン能力を高める。
- 3 確認テストを実施し、定着をはかる。プリント、ノート、課題提出による取組状況確認を定期的に行う。

III 教科書・補助教材

教科書 「数学 I」数研出版
 副教材 「体系数学 3 数式・関数編」数研出版 「4 STEP 数学 I +A」数研出版 「4 STEP 数学 II +B」数研出版
 「項目別学習ノート 式と証明、複素数と方程式」数研出版 「データの分析ワークノート」東京書籍 他

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考	
		考 査	「教科書」の学習内容			副教材・その他の学習内容
一 学 期	春休み 宿 題	宿 題 テスト	中学校の復習	4 5		
	4 5	1 学期 中 間 考 査	三角比 三角形と正弦定理,余弦定理 三角形の面積 三角関数 一般角と弧度法 一般角の三角関数 三角関数の性質			「体系数学 3 数式・関数編」 第 1・3・5 章 「体系数学 3 数式・関数編」 第 5 章 P195~P213 第 6 章 P218~P229 「体系問題集 3 数式・関数編」 第 5 章 P105~P113 第 6 章 P116~P121 「4 STEP 数学 II +B」 第 4 章 P56~P61
	6 7	1 学期 期 末 考 査	三角関数 三角関数のグラフ 三角関数の応用 三角関数の加法定理 いろいろな公式			「体系数学 3 数式・関数編」 第 6 章 P230~P251 「体系問題集 3 数式・関数編」 第 5 章 P122~P136 「4 STEP 数学 II +B」 第 4 章 P62~P77
二 学 期	夏休み 宿 題	宿 題 テスト	1 学期の復習・2 学期の予習	4 5		
	9 10	2 学期 中 間 考 査	2 章 集合と命題 第 1 節 集合 P52~P57 第 2 節 命題と条件 P58~P63 第 3 節 命題と証明 P64~P68 5 章 データの分析 P174~P209 1 データの整理~6 仮説検定の考え方			数学 I 「4 STEP 数学 I +A」 第 2 章 P25~P32 第 5 章 P82~P96
	11 12	2 学期 期 末 考 査	数学 II 色々な式 式と証明 式と計算 等式と不等式の証明 複素数と方程式			「項目別ノート 式と証明、複素数と方程式」 「4 STEP 数学 II +B」 第 1, 2 章 P6~P34
三 学 期	冬休み 宿 題	宿 題 テスト	2 学期の復習・3 学期の予習	2 7		
	1 2 3	3 学期 学 年 末 考 査	数学 II 図形と方程式 直線上の点,座標平面上の点 直線の方程式,円の方程式 円と直線,軌跡と方程式,不等式と領域			「体系数学 3 数式・関数編」 第 4 章 P133~P178 「4 STEP 数学 II +B」 第 3 章 P35~P55
			計 117 (3 単位)			
評 価	1 評価評定について ・学期ごとに観点別評価と5段階評価を行う ・各学期の観点別評価と5段階評価をまとめ、学年末に通年の観点別評価と5段階評価を行う 2 評価評定の対象 ・定期考査（各100点） ・宿題テスト（50点換算） ・平常点（ノート・プリント提出状況、学期中の宿題、長期休業中の宿題、授業態度等）					

教科名 数学科

科目名 **数学A**

対 象 4 学年全員

I 学習到達目標

- 1 場合の数を求めるときの基本的な考え方や確率についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。
- 2 整数についての理解を深め、それを事象の考察に活用できるようにする。
- 3 平面図形や空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 予習、復習を前提とした授業を実施する。
- 2 授業は教科書を中心に扱う。問題演習などでは、問題を考察し、生徒自身が解法を発表することでプレゼン能力を高める。
- 3 確認テストを実施し、定着をはかる。プリント、ノート、課題提出による取組状況確認を定期的に行う。

III 教科書・補助教材

教科書 「数学A」 数研出版
副教材 「新課程 4STEP 数学 I +A」 数研出版 「新課程 4STEP 数学 II +B」 数研出版
「図形の性質ワークノート」 東京書籍 「領域別パーフェクトテキスト 統計」 啓林館

IV 学習計画

学期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題	宿 題 テスト		スタディーサポート	
	4		準備 集合 P6～P11		
	5	1 学期 中 間 考 査	第 1 章 場合の数と確率 第 1 節 場合の数 P14～P41 第 2 節 確率 P42～P79	「新課程 4STEP 数学 I +A」 第 1 章 P100～P135	3 0
	6		第 2 章 図形の性質（3 年の既習事項の復習）		
	7	1 学期 期 末 考 査	第 1 節 平面図形 P82～P117 第 2 節 空間図形 P118～P129	「新課程 4STEP 数学 I +A」 第 2 章 P136～P162	
二 学 期	夏休み 宿 題	宿 題 テスト	1 学期の復習	「チャート式基礎からの数学 I・A」	
	9		第 3 章 数学と人間の活動		
	1 0	2 学期 中 間 考 査	第 1 節 約数と倍数 P132～P135 第 2 節 素数と素因数分解 P136～P139 第 3 節 最大公約数、最小公倍数 P140～P143 第 4 節 整数の割り算 P144～P147 第 5 節 ユークリッドの互除法 P148～P151 第 6 節 1 次不定方程式 P152～P157	「新課程 4STEP 数学 I +A」 第 3 章 P163～P178	3 0
	1 0		第 7 節 記数法 P158～P161		
	1 1	2 学期 期 末 考 査	第 8 節 座標の考え方 P162～P167 補足 合同式・2 次の不定方程式 P174～P178	「新課程 4STEP 数学 I +A」 第 3 章 P184～P191	
三 学 期	冬休み 宿 題	宿 題 テスト	2 学期の復習・3 学期の予習	「チャート式基礎からの数学 I・A」	
	1	3 学期			
	2 3	学年末 考 査	数列 ベクトル	「新課程 4STEP 数学 II +B」 第 1 章 P118～P143 「項目別学習ノート ベクトル」	1 8
				計 78 (2 単位)	
評 価					1 評価評定について ・学期ごとに観点別評価と5段階評価を行う ・各学期の観点別評価と5段階評価をまとめ、学年末に通年の観点別評価と5段階評価を行う 2 評価評定の対象 ・定期考査（各100点） ・宿題テスト（50点換算） ・平常点（ノート・プリント提出状況、学期中の宿題、長期休業中の宿題、授業態度等）

教科名 数学科
 科目名 数学Ⅱ
 対象 5学年全員

I 学習到達目標

- 1 いろいろな式及び微分積分の考えについて理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を目標とする。
- 2 様々な事象を数学的に考察し、処理する能力を伸ばすと共に、それらを活用する能力を身に付ける。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 予習、復習を要する授業を実施する。
- 2 授業は「基礎知識」「例題」の解説と「問」の解法発表がしめる。復習として、問題集等の練習問題を反復して解く。
- 3 確認テストによる理解度チェック、プリント、ノート、課題提出による取組状況確認を定期的に行う。

III 教科書・補助教材

教科書「新課程 数学Ⅱ」数研出版
 副教材「新課程 4STEP 数学Ⅱ+B」「新課程 4STEP 数学C」数研出版 「項目別学習ノート ベクトル」数研出版
 補助教材「増補改訂版 チャート式基礎からの数学Ⅱ+B」 数研出版

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考	
		考 査	学習内容			副教材・その他の学習内容
一 学 期	春休み 宿 題	宿 題 テスト	スタディーサポート			
	4 5	1 学期 中 間 考 査	第4章 第3節 軌跡と領域 P101～114 第5章 指数関数と対数関数 P156～180	「4STEP 数学Ⅱ+B」	60	
	6 7	1 学期 期 末 考 査	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 P182～194 第2節 導関数の応用 P195～210 第3節 積分法 P211～235	「4STEP 数学Ⅱ+B」		
二 学 期	夏休み 宿 題	宿 題 テスト	夏休みの宿題より出題			
	9 10	2 学期 中 間 考 査	平面上のベクトル 数学C 第1章 平面上のベクトル 第1章 平面上のベクトルとその演算 平面上のベクトルベクトルの演算 ベクトルの成分 ベクトルの内積 位置ベクトル ベクトルと図形 ベクトル方程式	「項目別学習ノート ベクトル」 「4STEP 数学C」	60	
	11 12	2 学期 期 末 考 査	【文系・理系Ⅱ】 入試問題の基本	【理系Ⅰ】 第3章 関数 分数関数、無理関数 逆数関数と合成関数		「4STEP 数学Ⅲ」
三 学 期	冬休み 宿 題	宿 題 テスト	冬休みの宿題より出題			
	1 2 3	学 年 末 考 査	【文系・理系Ⅱ】 入試問題の基本	【理系Ⅰ】 第4章 極限 第1節 数列の極限 第2節 関数の極限	「4STEP 数学Ⅲ」	36
					計 156 (4単位)	
評 価	1 評価評定について ・学期ごとに観点別評価と5段階評価を行う ・各学期の観点別評価と5段階評価をまとめ、学年末に通年の観点別評価と5段階評価を行う 2 評価評定の対象 ・定期考査（各100点） ・宿題テスト（50点換算） ・平常点（ノート・プリント提出状況、学期中の宿題、長期休業中の宿題、授業態度等）					

教科名 数学科
 科目名 数学B
 対象 5学年全員

I 学習到達目標

- 1 数列と統計的な推測について基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。
- 2 事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する能力を育てる。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 予習、復習を要する授業を実施する。
- 2 授業は「例題」の解説と「練習」の解法がしめる。復習として、問題集等の練習問題を反復して解く。
- 3 確認テストによる理解度チェック、プリント、課題提出による取組状況確認を定期的に行う。

III 教科書・補助教材

教科書 「数学B」数研出版
 補助教材 「教科書傍用 4STEP 数学II+B」数研出版 「新課程 チャート式基礎からの数学II+B」数研出版
 「統計的な推測 ワークノート」東京書籍 「新課程 項目別学習ノート ベクトル」数研出版
 「教科書傍用 4STEP 数学C（ベクトル）」数研出版

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容			授業時数	備考
		考 査	学習内容	副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題	宿 題 テスト	春休み宿題より出題	チャート式の指定範囲	30	
	4	1 学期 中 間 考 査	第1章 数列 第1節 数列とその和 階差数列、いろいろな数列の和	「4STEP 数学II+B」		
	5		第2節 数学的帰納法 漸化式と数列、数学的帰納法	「4STEP 数学II+B」		
6	7	1 学期 期 末 考 査				
二 学 期	夏休み 宿 題	宿 題 テスト	夏休み宿題、今までの全範囲より出題	チャート式の指定範囲	30	
	9	2 学期 中 間 考 査	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 確率変数と確率分布、期待値と分散 確率変数の変換、和と期待値 独立な確率変数と期待値・分散 二項分布 正規分布	「4STEP 数学II+B」 「統計的な推測 ワークノート」		
	10		第2節 統計的な推測 母集団と標本 標本平均とその分散、推定、仮説検定	「4STEP 数学II+B」 「統計的な推測 ワークノート」		
11	12	2 学期 期 末 考 査	数学C 第1章 平面上のベクトル 第1節 平面上のベクトルとその演算 平面上のベクトルベクトルの演算 ベクトルの成分と内積 位置ベクトル	「項目別学習ノート ベクトル」 「4STEP 数学C（ベクトル）」		
三 学 期	冬休み 宿 題	宿 題 テスト	冬休み宿題、今までの全範囲より出題	チャート式の指定範囲	18	
	1	学 年 末 考 査	第2節 ベクトルと平面図形 ベクトルと図形・方程式	「項目別学習ノート ベクトル」 「4STEP 数学C（ベクトル）」		
	2		第2章 空間のベクトル 空間の座標 空間ベクトルの成分と内積 位置ベクトル 空間ベクトル図形 座標空間における図形			
3						
					計 78 (2単位)	
評 価	1 評価評定について ・学期ごとに観点別評価と5段階評価を行う ・各学期の観点別評価と5段階評価をまとめ、学年末に通年の観点別評価と5段階評価を行う 2 評価評定の対象 ・定期考査（各100点） ・宿題テスト（50点換算） ・平常点（ノート・プリント提出状況、学期中の宿題、長期休業中の宿題、授業態度等）					

教科名 数学科
 科目名 数学Ⅲ
 対象 6学年 理系

I 学習到達目標

- 1 極限、微分法および積分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図る。
- 2 問題演習や課題の添削を通して計算力や記述力を習得する。
- 3 大学入試に向けて段階を踏まえた学習を行い高校数学Ⅲの応用力を養う。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 予習、復習を要する授業を実施する。
- 2 授業は「例題」の解説と「問」の解法がしめる。復習として、問題集等の練習問題を反復して解く。
 2学期以降は演習形式の授業
 - ・生徒による黒板での記述解答と解説。（事前指名による分担。予習を原則とする。）
 - ・別解の解説や記述内容の添削。
- 3 確認テストによる理解度チェック、プリント、ノート、課題提出による取組状況確認を定期的に行う。
- 4 考査前や長期休業中に課題等あり。確認テスト、模擬テスト等の実施による実力確認あり。

III 教科書・補助教材

教科書 「数学Ⅲ」数研出版
 補助教材 「新課程 項目別学習ノート 関数・極限」数研出版 「教科書傍用 4STEP 数学Ⅲ+C」数研出版
 「新課程 基礎からの数学Ⅲ+C」数研出版 「クリアー数学演習Ⅲ・C 受験編」数研出版
 「2024 スタンダード数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C [ベクトル] 受験編」数研出版
 「2025共通テスト直前対策問題集 Vol.3 数学Ⅰ・A Jシリーズ」河合出版
 「2025共通テスト直前対策問題集 Vol.4 数学Ⅱ・B Jシリーズ」河合出版

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	学習内容		
一 学 期	4	1 学期 中 間 考 査	第2章 極限 P26～P71	「項目別学習ノート関数・極限」 「基礎からの数学Ⅲ+C」 「4STEP 数学Ⅲ+C」 「クリアー数学演習Ⅲ・C 受験編」	7 5
	5		第3章 微分法 P74～P103 第4章 微分法の応用 P106～143		
二 学 期	6	1 学期 期 末 考 査	第5章 積分法 P146～P181	「4STEP 数学Ⅲ+C」 「クリアー数学演習Ⅲ・C 受験編」	7 5
	7		第6章 積分法の応用 P184～P205		
二 学 期	9	2 学期 中 間 考 査	問題集「クリアー数学演習ⅢC」 Ⅰ 複素数平面 Ⅱ 式と曲線 Ⅲ 関数 Ⅳ 極限 Ⅴ 微分法 Ⅵ 微分法の応用 Ⅶ 積分法 Ⅷ 積分法の応用	チャート式の指定範囲 「新課程 基礎からの数学Ⅲ+C」 「クリアー数学演習Ⅲ・C 受験編」	7 5
	10		◆共通テスト演習 ◆過去問演習	「Jシリーズ」河合出版 「クリアー数学演習Ⅲ・C 受験編」 「2024 スタンダード数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C [ベクトル] 受験編」	
三 学 期	1	学 年 末 考 査	◆共通テスト演習 ◆過去問演習	「Jシリーズ」河合出版 「クリアー数学演習Ⅲ・C 受験編」 「2024 スタンダード数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C [ベクトル] 受験編」	4 5
	2				
	3				
				計 1 9 5 (5単位)	
評 価	1 評価評定について ・各学期に観点別評価と5段階評価を行う ・各学期の観点別評価と5段階評価をまとめ、学年末に通年の観点別評価と5段階評価を行う。 2 評価評定の対象 ・定期考査（各100点） ・平常点（ノート・プリント提出状況、学期中の宿題、長期休業中の宿題、授業態度等）				

教科名 数学科
 科目名 数学C（必修）
 対象 6学年 理系および文系選択者

I 学習到達目標

- 1 複素数平面と式と曲線について基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。
- 2 事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する能力を育てる。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 予習、復習を要する授業を実施する。
- 2 授業は「例題」の解説と「練習」の解法がしめる。復習として、問題集等の練習問題を反復して解く。
- 3 確認テストによる理解度チェック、プリント、課題提出による取組状況確認を定期的に行う。

III 教科書・補助教材

教科書 「数学C」数研出版
 補助教材「新課程 項目別学習ノート 複素数平面」数研出版 「教科書傍用 4STEP 数学Ⅲ+C」数研出版
 「新課程 基礎からの数学Ⅲ+C」数研出版 「クリアー数学演習Ⅲ・C 受験編」数研出版
 「2025共通テスト直前対策問題集 Vol.3 数学Ⅰ・A Jシリーズ」河合出版
 「2025共通テスト直前対策問題集 Vol.4 数学Ⅱ・B Jシリーズ」河合出版

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容			授業時数	備考
		考 査	学習内容	副教材・その他の学習内容		
一 学 期	4	1 学期 中 間 考 査	第2章 複素数平面	「項目別学習ノート複素数平面」 「4STEP 数学Ⅲ+C」 「クリアー数学演習Ⅲ・C 受験編」	30	
	5		第3章 式と曲線 第1節 2次曲線 放物線 楕円 双曲線 2次曲線の平行移動 2次曲線と直線 2次曲線の性質	「4STEP 数学Ⅲ+C」 「クリアー数学演習Ⅲ・C 受験編」		
二 学 期	9	2 学期 中 間 考 査	第2節 媒介変数表示と極座標 曲線の媒介変数表示 極座標と極方程式 ・数学ⅠAⅡBⅢC演習+共通テスト演習	「新課程 基礎からの数学Ⅲ+C」 「4STEP 数学Ⅲ+C」 「クリアー数学演習Ⅲ・C 受験編」 「Jシリーズ」河合出版	30	
	10		・数学ⅠAⅡBⅢC演習+共通テスト演習	「Jシリーズ」河合出版		
	11	2 学期 期 末 考 査				
三 学 期	1	学 年 末 考 査	・数学ⅠAⅡBⅢC演習+共通テスト演習	「Jシリーズ」河合出版	18	
	2					
	3					
					計 78 (2単位)	
評 価	1 評価評定について ・各学期に観点別評価と5段階評価を行う ・各学期の観点別評価と5段階評価をまとめ、学年末に通年の観点別評価と5段階評価を行う。 2 評価評定の対象 ・定期考査（各100点） ・平常点（ノート・プリント提出状況、学期中の宿題、長期休業中の宿題、授業態度等）					

教科名 数学科
 科目名 数学Ⅱ演習
 対象 6学年 文理系

I 学習到達目標

- 1 問題演習を通し、基本的な計算や考え方の理解を深める。
- 2 大学入試対策として高校数学ⅠAⅡBの総合演習に取り組み、多様な解法を学び、応用力を養う。
- 3 記述試験に対応できる実力を養う。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 問題演習に取り組む
 - ・生徒による黒板での記述解答と解説。（事前指名による分担。予習を原則とする。）
 - ・別解の解説や記述内容の添削。
- 2 考查前や長期休業中に課題等あり。確認テスト等の実施による実力確認あり。
- 3 その他、進捗状況に応じて、授業で連絡。

III 教科書・補助教材

教科書 「新課程 数学Ⅰ」「新課程 数学A」「新課程 数学Ⅱ」「新課程 数学B」「新課程 数学C」数研出版
 補助教材 「新課程 メジアン数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C受験編」数研出版 「リンク数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B 受験編」数研出版
 「2025共通テスト直前対策問題集 Vol. 3 数学Ⅰ・A Jシリーズ」河合出版
 「2025共通テスト直前対策問題集 Vol. 4 数学Ⅱ・B Jシリーズ」河合出版

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容			授業時数	備考
		考 査	学習内容	副教材・その他の学習内容		
一 学 期	4	1 学 期 中 間 考 査	VII 図形と式 P48～P57 VIII 三角・指数・対数関数 P58～P69 IX 微分法・積分法 P70～P85 X 数列 P86～P95	リンク数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B メジアン 4 STEPⅡ+B	4 5	
	6		X 数列 P86～P95 XI ベクトル P96～P105 XII 統計 P106～P109 I 数と式 P6～P11 II 関数と方程式・不等式 P12～P23 III 式と証明、論理 P24～P29	メジアン 4 STEPⅠ+A 4 STEPⅡ+B		
二 学 期	9	2 学 期 中 間 考 査	V 場合の数・確率 P36～P43 VI 図形の性質 P44～P47 IV 整数の性質 P30～P35	メジアン 4 STEPⅠ+A	4 5	
	1 1 1 2		◆共通テスト演習ⅠAⅡB ◆大学入試2次試験対策	大学入学共通テスト過去問 「Jシリーズ」河合出版		
三 学 期	1 2 3	学 年 末 考 査	◆共通テスト演習ⅠAⅡB ◆大学入試2次試験対策 過去問への取り組み、メジアンの復習		2 7	
					計 117 (3単位)	
評 価	1 評価評定について <ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとに観点別評価と5段階評価を行う ・各学期の観点別評価と5段階評価をまとめ、学年末に通年の観点別評価と5段階評価を行う 2 評価評定の対象 <ul style="list-style-type: none"> ・定期考查（各100点） ・平常点（ノート・プリント提出状況、学期中の宿題、長期休業中の宿題、授業態度等） 					

教科名 数学科

科目名 数学A演習（自由選択）数学演習α

対象 文系（共通テストIA対応）

I 学習到達目標

- 1 問題演習を通して、数学IAの基礎基本を確認し、応用力を養う。
- 2 共通テストにおける頻出例題や重要例題の解法を身に付ける。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 問題演習に取り組む
 - ・生徒による黒板での記述解答と解説。（事前指名による分担。予習を原則とする。）
 - ・別解の解説や記述内容の添削。
- 2 考査前や長期休業中に課題等あり。確認テスト、模擬テスト等の実施による実力確認あり。

III 教科書・補助教材

教科書 「改訂版 数学I」「改訂版 数学A」数研出版
補助教材 「2025共通テスト直前問題集 Vol.3 数学I・A」河合出版
「新課程 攻略!共通テスト Pick Up 数学I+A、II+B+C」東京書籍
「Why型思考力をみがく大学入学共通テスト対応問題集 数学I・A・II・B・C」啓林館
「短期集中新課程ゼミノート2024大学入試 数学I+A 記述試験対策ノート」実教出版

IV 学習計画

学期	月	学習内容			授業 時数	備考
		考査	「教科書」の学習内容	副教材・その他の学習内容		
一 学 期	4	1学期 中 間 考 査	数と式 2次関数 データの分析	「新課程 攻略!共通テスト Pick Up 数学 I+A、II+B+C」東京書籍	30	
	5		図形と計量 場合の数と確率			
	6	1学期 期 末 考 査	整数の性質 図形の性質 「大学入学共通テスト対応問題集 数学的思考をみがく数学I・A・II・B」 マスター編 P4~P15 読解力編 P26~P39	「新課程 攻略!共通テスト Pick Up 数学 I+A、II+B+C」東京書籍	30	
	7					
二 学 期	9	2学期 中 間 考 査	「大学入学共通テスト対応問題集 数学的思考をみがく数学I・A・II・B」 読解力編 P40~P51	「新課程 攻略!共通テスト Pick Up 数学 I+A、II+B+C」東京書籍	30	
	10					
	11	2学期 期 末 考 査	「大学入学共通テスト対応問題集 数学的 思考をみがく数学I・A・II・B」 実践編 P52~P61 ◆共通テスト演習	「新課程 攻略!共通テスト Pick Up 数学 I+A、II+B+C」東京書籍 「Jシリーズ」河合出版	30	
	12					
三 学 期	1 2 3	学年末 考 査	◆共通テスト演習	「Jシリーズ」河合出版	18	
					計 78 (2単位)	
評 価						1 評価評定について ・学期ごとに観点別評価と5段階評価を行う ・各学期の観点別評価と5段階評価をまとめ、学年末に通年の観点別評価と5段階評価を行う 2 評価評定の対象 ・定期考査（各100点） ・平常点（ノート・プリント提出状況、学期中の宿題、長期休業中の宿題、授業態度等）

教科名 数学科
 科目名 数学C（自由選択）数学演習C-β
 対象 文系（共通テストI A II B対応）

I 学習到達目標

- 1 図形的な思考力を高め、活用できるようになる。
- 2 問題演習を通して、数学I A II Bの基礎基本を確認し、共通テストにおける頻出例題や重要例題の解法を身に付ける。
- 3 高校数学I A II Bの高い応用力を養う。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 例題の解説と問題演習
- 2 問題演習（原則、事前に予習しておく）
- 3 考査前や長期休業中に課題等あり。確認テスト・模擬テスト等による実力確認あり

III 教科書・補助教材

教科書 「数学I」「数学II」「数学A」「数学B」「数学C」数研出版
 補助教材 「新課程 教科書傍用 4STEP 数学III+C」数研出版
 「新課程 攻略！共通テスト Pick Up 128 数学I+A・II+B+C」東京書籍
 「短期集中新課程ゼミノート2024 大学入試数学I+A 記述試験対策ノート」実教出版
 「短期集中新課程ゼミノート2024 大学入試数学II+B 記述試験対策ノート」実教出版
 「2025共通テスト直前対策問題集 Vol. 3 数学I・A Jシリーズ」河合出版
 「2025共通テスト直前対策問題集 Vol. 4 数学II・B Jシリーズ」河合出版
 「Why型思考力をみかく大学入学共通テスト対応問題集 数学I・A・II・B・C」啓林館

IV 学習計画

学期	月	学習内容			授業 時数	備考
		考査	「教科書」の学習内容	副教材・その他の学習内容		
一 学 期	4	1学期 中 間 考 査	数学C 第2章 複素数平面	「新課程 教科書傍用 4STEP 数学III+C」数研出版	30	
	5		数学C 第3章 式と曲線	「新課程 教科書傍用 4STEP 数学III+C」数研出版		
二 学 期	9	2学期 中 間 考 査	・共通テスト演習 「新課程 攻略！共通テスト Pick Up 128 数学I+A・II+B+C」東京書籍	「短期集中新課程ゼミノート2024 大学入試 数学I+A 記述試験対策ノート」実教出版 「短期集中新課程ゼミノート2024 大学入試 数学II+B 記述試験対策ノート」実教出版 「Why型思考力をみかく大学入学共通テスト 対応問題集 数学I・A・II・B・C」啓林館	30	
	10		・共通テスト演習 「新課程 攻略！共通テスト Pick Up 128 数学I+A・II+B+C」東京書籍	「2025共通テスト直前対策問題集 Vol. 3 数学I・A Jシリーズ」河合出版 「2025共通テスト直前対策問題集 Vol. 4 数学II・B Jシリーズ」河合出版		
三 学 期	1	学 年 末 考 査	・共通テスト演習 「新課程 攻略！共通テスト Pick Up 128 数学I+A・II+B+C」東京書籍	「2025共通テスト直前対策問題集 Vol. 3 数学I・A Jシリーズ」河合出版 「2025共通テスト直前対策問題集 Vol. 4 数学II・B Jシリーズ」河合出版	18	
	2					
	3				計 78 (2単位)	
評 価	1 評価評定について ・学期ごとに観点別評価と5段階評価を行う ・各学期の観点別評価と5段階評価をまとめ、学年末に通年の観点別評価と5段階評価を行う 2 評価評定の対象 ・定期考査（各100点） ・平常点（ノート・プリント提出状況、学期中の宿題、長期休業中の宿題、授業態度等）					

教科名 数学科
 科目名 数学C（自由選択）数学演習C-γ
 対象 文系（国公立2次対応）

I 学習到達目標

- 1 図形的な思考力を高め、活用できるようになる。
- 2 大学受験における2次試験レベルの問題を解けるようにする。
- 3 高校数学I A II Bの高い応用力を養う。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 例題の解説と問題演習
- 2 問題演習（原則、事前に予習しておく）
- 3 考査前や長期休業中に課題等あり。確認テスト・模擬テスト等による実力確認あり

III 教科書・補助教材

教科書 「数学I」「数学II」「数学A」「数学B」「数学C」数研出版
 補助教材 「新課程 教科書傍用 4STEP 数学III+C」数研出版
 「短期集中新課程ゼミノート2024 大学入試数学I+A 記述試験対策ノート」実教出版
 「短期集中新課程ゼミノート2024 大学入試数学II+B 記述試験対策ノート」実教出版
 「2025共通テスト直前対策問題集 Vol. 3 数学I・A Jシリーズ」河合出版
 「2025共通テスト直前対策問題集 Vol. 4 数学II・B Jシリーズ」河合出版
 「Why型思考力をみがく大学入学共通テスト対応問題集 数学I・A・II・B・C」啓林館
 「2024スタンダード数学演習I A II B C」数研出版

IV 学習計画

学期	月	学習内容			授業 時数	備考
		考査	「教科書」の学習内容	副教材・その他の学習内容		
一学期	4 5	1学期 中間 考査	数学C 第2章 複素数平面	「新課程 教科書傍用 4STEP 数学III+C」数研出版	30	
	6 7	1学期 期末 考査	数学C 第3章 式と曲線	「新課程 教科書傍用 4STEP 数学III+C」数研出版		
二学期	9 10	2学期 中間 考査	大学入試問題演習 「スタンダード 数学演習I A II B C」B*問題 I 数と式 P4~P9 II 関数と方程式・不等式 P10~P19 III 式と証明、論理 P20~P27 IV 整数の性質 P28~P31 V 場合の数と確率 P32~P41 VI 図形の性質 P44~P47	「スタンダード 数学演習I A II B C」 「短期集中新課程ゼミノート2024 大学入試 数学I+A 記述試験対策ノート」実教出版 「短期集中新課程ゼミノート2024 大学入試 数学II+B 記述試験対策ノート」実教出版 「Why型思考力をみがく大学入学共通テスト 対応問題集 数学I・A・II・B・C」啓林館	30	
	11 12	2学期 期末 考査	VII 図形と式 P48~P57 VIII 三角・指数・対数関数 P58~P69 IX 微分法・積分法 P70~P85 X ベクトル P88~P97 XI 数列 P100~P109 XII データの分析 P112~P113 ・共通テスト演習	「スタンダード 数学演習I A II B C」 「2025共通テスト直前対策問題集 Vol. 3 数学I・A Jシリーズ」河合出版 「2025共通テスト直前対策問題集 Vol. 4 数学II・B Jシリーズ」河合出版		
三学期	1 2 3	学年末 考査	・共通テスト演習	「2025共通テスト直前対策問題集 Vol. 3 数学I・A Jシリーズ」河合出版 「2025共通テスト直前対策問題集 Vol. 4 数学II・B Jシリーズ」河合出版	18	
					計 78 (2単位)	
評価	1 評価評定について ・学期ごとに観点別評価と5段階評価を行う ・各学期の観点別評価と5段階評価をまとめ、学年末に通年の観点別評価と5段階評価を行う 2 評価評定の対象 ・定期考査（各100点） ・平常点（ノート・プリント提出状況、学期中の宿題、長期休業中の宿題、授業態度等）					

教科名 数学科

科目名 数学B演習（自由選択）数学演習γ

対象 文系（国公立2次対策）

I 学習到達目標

- 1 高校数学ⅠAⅡBの内容を踏まえ、基礎基本を確認し、応用問題に対応する力をつける。
- 2 大学受験における2次試験レベルの問題を解けるようにする。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 問題演習に取り組む
 - ・生徒による黒板での記述解答と解説。（事前指名による分担。予習を原則とする。）
 - ・別解の解説や記述内容の添削。
- 2 考査前や長期休業中に課題等あり。確認テスト、模擬テスト等の実施による実力確認あり。

III 教科書・補助教材

教科書 「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」数研出版
補助教材 「2024スタンダード数学演習ⅠAⅡBC」数研出版
「増補改訂版 チャート式基礎からの数学Ⅰ+A」「増補改訂版 チャート式基礎からの数学Ⅱ+B」数研出版
「2025共通テスト直前対策問題集 Vol. 3 数学Ⅰ・A Jシリーズ」河合出版
「2025共通テスト直前対策問題集 Vol. 4 数学Ⅱ・B Jシリーズ」河合出版

IV 学習計画

学期	月	学習内容			授業 時数	備考
		考査	「教科書」の学習内容	副教材・その他の学習内容		
一 学 期	4	1学期 中 間 考 査	大学入試問題演習 「スタンダード 数学演習ⅠAⅡBC」B*問題 Ⅰ 数と式 P4～P9 Ⅱ 関数と方程式・不等式 P10～P19 Ⅲ 式と証明、論理 P20～P27 Ⅶ 図形と式 P48～P57	「スタンダード 数学演習ⅠAⅡBC」 「スタンダード 数学Ⅰ+A」 「青チャート 数学Ⅰ+A」 「青チャート 数学Ⅱ+B」	60	
	5					
	6	1学期 期 末 考 査	Ⅳ 整数の性質 P28～P31 Ⅴ 場合の数と確率 P32～P41 Ⅵ 図形の性質 P44～P47	「スタンダード 数学演習ⅠAⅡBC」 「スタンダード 数学Ⅰ+A」 「青チャート 数学Ⅰ+A」 「青チャート 数学Ⅱ+B」		
7						
二 学 期	9	2学期 中 間 考 査	大学入試問題演習 「スタンダード 数学演習ⅠAⅡBC」B*問題 Ⅵ 図形の性質 P44～P47 Ⅶ 図形と式 P48～P57 Ⅷ 三角・指数・対数関数 P58～P69 Ⅸ 微分法・積分法 P70～P85 Ⅹ ベクトル P88～P97 Ⅺ 数列 P100～P109 Ⅻ データの分析 P112～P113	「スタンダード 数学演習ⅠAⅡBC」 「スタンダード 数学Ⅰ+A」 「青チャート 数学Ⅰ+A」 「青チャート 数学Ⅱ+B」	60	
	10					
	11		学年末	◆共通テスト演習ⅠAⅡB		
12	考査					
三 学 期	1		◆共通テスト演習	「Jシリーズ」河合出版 「スタンダード 数学演習ⅠAⅡBC」	36	
2						
3						
					計 156 (4単位)	
評 価						

1 評価評定について
・学期ごとに観点別評価と5段階評価を行う
・各学期の観点別評価と5段階評価をまとめ、学年末に通年の観点別評価と5段階評価を行う
2 評価評定の対象
・定期考査（各100点）
・平常点（ノート・プリント提出状況、学期中の宿題、長期休業中の宿題、授業態度等）